NIE実践報告

1．タイトル：**漢字力、文章力をつけるNIEの実践（PARTⅡ）**

2．学校名

広島県立大和高等学校

3．実践者名（代表者名）

木梨可奈子・清水美和・八城正弘

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

ホームルーム・読書一般教養　18人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞コラムの読解

7．目標(狙い)

生徒に新聞のコラムを読ませ、記事の主題や問題の所在を理解させ、自分なりの意見や感想をまとめる力を付けていく。

8．評価の視点

漢字の読みが出来ているか。（10問）
記事の主題を理解し、自分の意見・感想をまとめることが出来ているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

4月から10月まで、毎週月曜日の1時間目の読書・一般教養の時間で実施。15分でコラムを読んで感想意見をまとめる。担当者が漢字の読みの採点と文章の添削をして返却する。半年間で14回実施。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

4月16日「高松塚古墳解体」
5月 7日「長崎市長銃撃事件」
5月21日「本土復帰から35年の沖縄」
6月 4日「野生コウノトリの保護問題」
6月18日「NOVAの不正経営問題」
7月 2日「ハトシェプスト女王の墓の発見」
9月10日「宙に浮いた年金問題」
4月23日「地球温暖化問題」
5月14日「子ども兵士の問題」
5月28日「政治とカネ、松岡農水相問題」
6月11日「サミットと地球環境問題」
6月25日「反省なき改憲論、元日本兵の悔悟」
7月 9日「久間防衛相，原爆しょうがない発言」
10月 1日「中秋の名月に現在の地球を考える」

新聞各紙から、生徒の興味・関心を引く内容、進路に関係する内容（小論文・作文のテーマになりやすいもの）、これからの社会・世界が直面する課題などを題材として選んでいった。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「だるい」「あまりおもしろくなかった」という生徒も若干いたが、多くの生徒は「よかった」「ためになった」「文章をまとめる力が付いた」「新聞を読むようになった」「漢字の練習が出来てよかった」「少しは読解力が付いた」などの感想を書いている。18名全員が進路を決定した。

12．成果と課題

実施後の生徒へのアンケート結果（18名，一部抜粋）
漢字の力を付けるのに役立っている　38.9%　　少しは役立っている　50.0%
文章を読む力を付けるのに役立っている　38.9%　　少しは役立っている　50.0%
自分の考えや意見をまとめる力を付けるのに役立っている　33.3%　　少しは役立っている　61.1%
朝読で新聞記事を読んでまとめるのはよいと思う　22.2%　　まあまあだと思う　61.1%
概ね肯定的な評価。題材の選択，的確な添削を行う力量の涵養，日常的な読書・読解にどう繋げるかが課題。